

February 2019

IT&AI宣教

-終末リバイバルの働きの使命の成就に向けて-

ところが、良い地に蒔かれるとは、みことばを聞いてそれを悟る人のことで、その人はほんとうに実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結びます。

(マタイの福音書 13章23節)



聖所から流れ出る水ミッション

代表 エルサレム杉澤

皆様の尊いお祈りとご献金を有難うございます。1月の東京は冬の異常気象で異常な乾燥からインフルエンザが蔓延し、集団感染者の中で多くの死亡者が相次ぐ一方、北海道や東北、北陸地方では異様な豪雪に見まわれています。また、日韓レーダー照射問題を始め、アメリカ、ロシア、中国、イギリス、EU等々の世界主要各国を駆け巡るニュース・・・主イエスの再臨前の前兆と思われる現象が日本のみならず世界の至るところで次々と起きています。明らかに、時代は黙示録時代そして再臨に向けて着実に進んでいます。

主イエスは弟子たちに語られた大宣教命令を通して、全世界の国々のすべての造られた者に福音を述べ伝えることを命令しています。IT(インターネット)の急速な普及と共に、特にSNS(Social Network Service)は驚異的なスピードで普及し、あらゆる世代の貴重な情報収集やコミュニケーション手段となっています。SNSだけが唯一の情報源となり、コミュニケーション手段である人々も多く存在するようになりました。SNSを有効活用し、福音宣教の武器として用いて、再臨に向けて福音宣教の働きを強力に推進して行く必要があります。

また、最新精鋭の技術、AI(人工知能)の著しい進化のなかで、AIロボットを始めとして、安全管理分野や医療機器分野、医療や介護分野等々の数えきれない分野で急速な進展と拡がりを見せています。預言を通してITと共にAIの導入と活用が、今後の教会や福音宣教の働きのポイントになることが再三語られています。

明らかにITと共にAIを有効活用する時代となりました。後の雨、終末のリバイバルの本格的な働きの使命の成就に向けて、御霊の賜物と共に宣教の働きを強力に推進する武器となります。大宣教命令の全うを目指すなかで、更に徹底して神さまに聞き従うならば、主がみわざを成され、約束を成就し、栄光を現してくださいませ。

写真右：イスラエル、オリーブ山で礼拝する

パウロ秋元牧師（中央）

